

## 女性委員長特別賞

# 自然の恵みは忘れちゃいかんで

三重県 | 三重県立伊勢工業高等学校 選手…2年生1名



一刀彫の彫刻家じいじが住む一刀彫美術館のある住まいの提案。伊勢本街道沿いの歴史あるまちにあり、伊勢神宮が建てられたところからのまちの歴史が語られ行基や円空がこのまちに現れ、その後令和の時代に伊勢一刀彫の造形を思わせるこの建物が登場する。この建物は住宅ゾーンである「常夜棟(灯)」と店舗ゾーンである「彫刻棟(刀)」、そしてまちのシンボルである「常夜灯」で構成されている。その外形と庭はまさに一刀彫をモチーフとしており、この力強い外観と周辺の自然とストーリーに圧倒された。やがて一刀彫の彫刻家である住人のじいじもこの建物も「自然の恵みは忘れちゃいかんで」という言葉もまちの歴史の一部となり、この建物を拠点に一刀彫の繁栄とまちの未来までが語られていて、本当にそうなるかもしれないと思うような不思議な説得力と力強さを感じる作品である。

住宅としての間取りに関しては、家族構成がわからなかったのと(じいじ夫婦+孫? とも?), BIFの主寝室は彫刻棟の階段を下りて常夜棟へいくのか等よくわからない部分があった。外観だけではなく、階段等の内部空間にも一刀彫の意匠性が活かされるとさらに魅力的な建築と



なったのではないかと思います。またこの建物が一刀彫を象徴する外形であることを考えると、両郡橋からのアプローチや「一刀彫の上を歩いているような庭」の提案もあると良かったのではないだろうか。(石貫)

# まちづくり委員長特別賞

## 循環 DIYがつなぐ街と職人

京都府 | 国立舞鶴工業高等専門学校 選手…3年生5名



「循環 DIYがつなぐ街と職人」では、住居部分の居間・食事室と職場側から家具製作の木材・道具や指導者を提供して、地域の人を呼び込むDIYスペースとを重ねることにより、今回のテーマである地域コミュニティのきっかけとなる職住一体の戸建ての家の実現をめざす計画である。職場と住居空間をスキップフロアや吹抜けを活用して、ソフトに分節しながらも絡め合わせることで心地良い独立性と関係性をつくり出している。地域コミュニティが育まれていくにつれて、住居のキッチンやリビング廻り、職場の出入口・販売スペース廻り、スキップフロアの階段廻りにあるスペースでは地域コミュニティを進化させるような行為が生まれることが期待される。

しかし、リビングから倉庫への階段は、DIYスペース側からのほうが利用しやすいのではとか、通り(街)に対して、DIYとリビングがもう少し大きな開口で繋がったほうが、相互に働きかけ合える関係性が生まれやすいのではとか、外部テラスを大きくつくり、倉庫と繋げるのは外部でのDIYやイベントなど楽しい活動の展開を予感させるが、たとえば、キッチンからも外部階段で繋がれば、活動の幅が広がる。(清水)

